

子育てサポーターリーダーの事例について

～ 家庭教育支援総合推進事業 ～

子育てサポーター同士の情報交換を行う交流会の開催などの取組

○青森県青森市の取組

青森県青森市では、市の教育センターの一角に、子育てサポーターリーダーの活動拠点となる「子育てサポートセンター」を設け、毎週火曜日と金曜日に3名の子育てサポーターリーダーが子育て相談などの子育て支援活動を行っている。

また、子育てサポーター同士の意見交換や情報交換を行う場として、月1回の交流会を開催するほか、市内の子育てサークルやPTAが実施する子育て講座への講師としての参加や、母子保健福祉部局と連携した、子育て講座の企画運営（講座内容の企画立案、講師選定、参加募集など）を行っている。



保健師等と連携した家庭訪問型の子育て支援の取組

○長野県池田町の取組

長野県池田町^{いけだまち}では、第1子を出産した家庭や、転勤等で町外から転入後に出産した家庭を対象に、保健師が行う新生児訪問の機会を活用して、元保育士である子育てサポーターリーダーが、保健師と一緒に家庭を訪問し、育児相談や子育てサークルの情報提供を行い、母親の友達づくりをサポートしている。

○青森県むつ市の取組

青森県むつ市では、幼稚園や保育所等に入所していない4～5歳の在宅未就学児童のいる家庭を対象に、保育士や栄養士として長年にわたり勤務経験のある子育てサポーターリーダーが保健師と同行訪問し、幼児期における食生活や生活習慣などの子育てに関する相談やアドバイスを実施している。

「子どもの生活リズム向上プロジェクト」取り組み事例

品川区立鈴ヶ森小学校の取り組み

事業実施に当たって到達目標をあらかじめ設定

- ・ 朝食摂取率100%
- ・ 歯磨き率100%
- ・ 10時までの就寝率90%



6月から12月の間に生活リズム比較調査を実施

(調査の一環として6月26日～7月14日までの3週間でクラス別の比較調査を行った。)

(内容)

6年生2クラスのうち1クラスについて生活リズムの条件を整え、その違いを検証

- 日程
- 7:20 登校
 - 7:30 ラジオ体操
 - 7:45 朝食(PTA役員等の協力)
 - 8:10 歯磨き

6月、9月、12月に全校児童を対象にアンケート調査を実施し、改善状況を把握(6月を基準データとし、9月に中間ポイントを把握、最終的には12月に目標達成を目指す。)



効果等

(6月26日～7月14日実施の比較調査による)

- **体温が上がったこと**や歯肉が良好に変化したといった身体的変化は見られたが、心理変化(子どもたちによる感謝の気持ちを込めた朝食を用意してくれた保護者への寄せ書きのプレゼント)は、イベント効果といった一過性のものかどうか追跡して精査する必要がある。

鈴ヶ森小学校6年生を対象とした調査
平均体温の変化について

体温測定日	(体温:℃)	
	条件を整えたグループ	日常生活を送ったグループ
6月26日(月)(活動初日)	32.0	32.1
6月30日(金)(活動初日から5日後)	32.8	31.7
7月14日(金)(活動初日から19日後)	32.5	31.8

※ただし、6月26日(月)から7月14日(金)の19日間のうち、土日は活動を行っていない。

※測定に関しては、サーモカメラによる右掌(中指)温度の測定であるため、通常の腋下測定体温より低い。

- 1週目と2週目における「児童の振り返りカード」を検証。
「朝すっきり起きられた」80%以上達成者 16%→23%
「忘れ物をしなかった」80%以上達成者 53%→66%
- その他、事業実施により保護者の意識変化(他の子どもへの愛着心が高まった)がみられた。